

●にじが丘自主防災会役員会を開きました。

4月25日（日）午前10時からにじが丘公民館で、自主防災会役員会を開催しました。今回は、自治会総会後の第一回役員会として、**総会で確認された防災に関する行事（課題）等**について検討を行いました。

このところ、新型コロナウイルスへの感染が拡大傾向にあることから、それらの状況を踏まえ協議を行いました。



大分県所有「起震車」(ヌレルンダー)

■防災研修会について

自治会組長会議に併せ、**新組長さんの防災に関する研修会**を毎年行っています。しかし、参加者全員で80名を超す人が一堂に会する事で「3密」になると想定されることから、今年度は研修会を行わない事としました。

（組長会議は別途連絡があります）

■自主防災セミナーの開催について

例年10月に開催を予定している「**自主防災セミナー**」について講師の手配など準備が必要なことから、今の段階では開催にむけ、必要な準備を行う事としました。コロナ禍の状況を見極めて別途判断、連絡を行うこととします。



■自治会防災訓練について

11月に開催予定の「**自治会防災訓練**」について、昨年は、コロナ禍の真ただ中という事情も重なり、実施合図の「花火」打ち上げ以降、必要最小限の取り組み（黄色旗掲出と班長による確認・報告）のみとしました。今年度は、実施計画づくりを行い準備を行いますが、コロナ禍の状況を見極め、実行するか否かの判断を別途行う事としました。

■要支援者への対応について

自主防災会の重要な取り組みである、**要支援者への対応**について、市の事業として取り組まれている「**年に一度の訪問活動**」は、今年度も中止（理由：コロナ禍）としました。

■梅雨前防災点検活動について

点検箇所について、梅雨前に実施していましたが、今年は、自主防災会として行わず、様子を見て防災士で個別に行う事としました。

一方、『**市道脇の雨水処理側溝に泥が蓄積して、その上に草が生えている場所も散見される**』との意見があり、これを除去する要望がありました。梅雨時期になると、これが影響して雨水の流れが悪くなることから、町内一円の状況把握（散歩時チェックを含む）を別途行う事としました。



●自治会防災アンケートを実施します



にじが丘自主防災会では、今後の自主防災活動をさらに充実するため、本年度は、二回目となる「防災アンケート調査」を実施する事と致しました。

詳細が決まりましたら、自治会役員会及び組長会議などを通じて取り組みます。ご協力をお願い致します。

我が家の防災対策

我が家の防災グッズ

■ベッドの下に「スニーカー」

取り敢えずの二人用防災グッズは、リュックサックに収めています。

そして、地震によるガラス等の飛散対処として、安価な靴をベッドの下に収納しています。

夜に靴をおろすと良くないと聞きますので、室内で1時間程使用済みですが、実際には使わないに越したことはありません。

防災士 衛藤延洋



困ってませんか？ 火災報知器(電池)の取替え

今回の役員会でも「火災報知器の取替えについて」話会いました。

平成23年6月から市の条例で、住宅用火災報知器の設置が義務付けられてから約10年が経過しました。最初から設置している場合は、電池の交換が必要になっています。

この作業は、天井に取り付けられた火災報知器を一旦取り外しての電池交換作業を伴いますので、特に、高齢者所帯でお困りの方が多いのではないかと、話になりました。お困りの方は、自治会もしくは、自主防災会(下記電話)へお問い合わせください。ご希望でしたら取り換え作業を行います。お問合せ先：公民館(☎546-3333)まで

2021. 04. 15

災害は忘れる暇なくやって来る

花宮広務

先月、気象庁は5月19日から向こう10年間使用する新平年値を発表しました。

平年値はその地点の気候特性を示す値とされるほか、気温・降水量・日照時間などその時々気象や冷夏・暖冬・少雨・多雨などの現象を評価する基準として利用されます。世界気象機関の取り決めて西暦年の末尾が「1」で始まる年に、直近の30年間を統計期間として10年ごとに見直されます。

現在の平年値は1981～2010年の観測値に基づき、新平年値は1991～2020年のデータで作成されたものです。

「現」と「新」を比べると、大分市の年平均降水量は、1644mmから1727mmと83mm増、年平均気温は16.4度が16.8度と0.4度上昇

新平年値からの警告

し、冬日(最低気温が0度未満)は新平年値で12.2日と「現」から4日減っています。いずれも、温暖化・都市化が影響しているのでしょう。

気温の平年値を人の体温に例えると、平熱が36.5度から37.4度になったことに相当します。年平均気温が16.8度であれば、これまでの評価では「平年より高い」でしたが、新平年値では「平年並み」となります。

過去の物差しで異常とされた現象が、新しい物差しでは当たり前……。ぬるま湯につかったカエルが、徐々に上昇するお湯の温度に気づかず「ゆでガエル」になるかのようです。新平年値は「ゆでガエル」になる前に、温暖化抑制の行動を「わたしたちに警告しています。」

(気象予報士)